

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンジュニア（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 21日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 21日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	フンストップ体制を作ったことで、長くお子さんの支援に関わることができる。	次につなげるための意識付け。サンへの移行を目指した目標設定。	保護者の方への事業内容の詳しい説明。グループ内の事業所見学を希望に応じて実施。
2	低学年に特化した事業所運営をしている。	年代を絞る事で、その年代に合った療育ができる。同年代同士の関わりを学ぶ事ができる。	児童発達から利用していただくことで、就学時の不安を和らげスムーズな学校生活につなげる。
3	個々の特性に合わせた専門的支援を行っている。	PTやSTによる個別の専門的支援の他、個々の特性に合わせた支援を行っている。	職員一人ひとりが専門性を高め、より良い療育ができるよう努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校休校日の開所時間（5時間）では、就労を支えるのには不十分な場合がある。	国の指針に基づき運営している。	延長支援を利用していただくこと。学童と併用していただくことで、早朝、延長の時間をカバーすることができる。
2	事業所の内容が地域の方に知られていない。	実際にどのような事業なのか知る機会がない。	近隣の施設に出かけること、商店を利用すること、インスタなどのSNSで広く広報すること。
3	遠方への送迎は実施していない。	限られた職員と車に対応するため、また下校時間が重なった場合に送迎の対応が難しい。低年齢の児童の長時間の乗車も避けたい。	待ち合わせ場所を設定する、自家送迎が可能であればお願いする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		サンジュニア（放課後等デイサービス）					公表日	令和7年3月10日	
		利用児童数			20名		回収数		18
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○	5		1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	○	2		1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○	1		4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○	1		1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				PTやSTが在籍しており、専門的支援が受けられていると感じる。	研修会等に参加し、さらにスキルアップに努める。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○				体を動かしたり、手先の運動だったり、工夫されている。	様々なお子さんの要望に沿えるよう、活動内容を工夫する。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	5	4	時々、児童館に出かけている様子。地域の子どもと交流する機会の必要性を感じていない。	開かれた事業所作りのためのイベント等企画する。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○			1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	○	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	○	5		1			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○	1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○		1	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○	2		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○			3	送迎時にかなり安全に気を付けてもらっている。	お子さんの安全確保のための確認をする。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○	2			とても楽しそう。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンジュニア（放課後等デイサービス）				公表日	令和7年3月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国が定める配置人数以上に配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		遊びの部屋、活動の部屋、食事の部屋に分け、お子さんの状況に応じて個別スペースを区切るなどしている。視覚で分かる情報を掲示している。	建物の構造上、完全に音や臭いを絶つことは難しいが、個別に対応を検討する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動の部屋を時間によっては勉強の部屋や運動の部屋として利用している。	毎日の清掃を徹底し、清潔な環境作りに努める。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンのために一部屋を開放することがある。パーティションで仕切る事で個別のスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフ会議で確認をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			いただいたご意見は真摯に受け止め、改善に努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なミーティングを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な社内研修を実施。外部研修に出かけた際は他の職員に伝達を行っている。	児発管以外の職員の外部研修にも積極的に取り組んでいく予定	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		手引きに基づき、職員で話あった支援プログラムを作成し、ホームページに公表する。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者面談にてニーズを分析、課題と合わせて計画を作成し、目標を提案している。	子ども自身のエンパワーメントに着目した計画を作成する。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管が計画案を作成し、スタッフと立案会議を実施。現在のこどもの状態を把握し、検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は回覧し、全員の職員が確認。実際の支援に活かしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートは計画更新時に必ず更新している。各職員が日々の記録を記載し、お子さんの状態の把握に努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			ご家庭での支援に活かしていただけるよう、なるべく具体的に記載する。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		役割分担をしながら、プログラムを決めている。皆で意見を出し合っている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さんの発達や課題に合ったプログラムになるよう検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝業務開始前に打ち合わせを行っており、その日の活動内容や職員の動き、注意点を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了後にその日の振り返りをし、内容を記録。その日勤務していない職員も後日確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報への記載だけでなく個々の記録を取り、経過を観察し、改善に役立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員からの聞き取りを元にモニタリング表を作成し、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		自立に向けた日常生活スキルの向上、創作活動、地域交流、余暇の充実に努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日常の中で、自身で選択し決定する機会を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校や子ども園との情報共有を密に行っている。ご家庭から頂いた検査結果やリハビリの内容を参考に支援している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者を通じて情報を得るほか、学校へ直接連絡し確認をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		移行支援会議に参加し、得た情報は職員間で共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		事業のシステム上、卒業ではなく、他事業所へ移行のタイミングで支援内容の共有をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	○	児童発達支援センター内の保育所等訪問を利用している児童は会議の場でアドバイスをいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	○	児童館や公園、イベントなどへ出かけた際に、地域の子どもと交流する場合もある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に子どもの様子を伝えている他、連絡ノートを通じてやり取りをしている。	今後は保護者向けの研修会を予定する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族で参加できるイベントを設け、ご参加いただいた。	今後は広くご参加いただけるよう、開催の方法や日程を検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に管理者より説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談にて保護者の意見を確認、成長発達に必要な支援を組み立てている。	保護者の意見が優先となりがちだが、お子さんの楽しめる内容としていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡ノートや電話、面談にて相談に応じている。	適切な助言が行えるよう勉強していきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		年1回保護者会を開催している。きょうだい児が参加できるイベントも企画し参加していただいた。	今後は保護者が参加しやすい行事も計画する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決の体制については重要事項説明書に記載	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、広報をお配りしている。HPやInstagramでも活動の様子などをお知らせしている。また、公式LINEも活用。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			日々の様子を撮った写真を保護者宛てに送っているが、他児が映り込む写真は注意が必要。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的に示す、文字だけではなく絵やジェスチャーを用いて意志の疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		畑作業にボランティアの地域の方に来ていただき、焼き芋をする際にお誘いした。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		消防訓練には年2回取り組んでいる。	家族への周知に努めたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			災害時の備蓄に努めたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		職員間で共有確認をしている。緊急対応表を見えるところに掲示している。お子さんによっては抗てんかん薬をお預かりしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		指示書に基づき緊急時対応表を作成、共有している。誤食に備えた薬のお預かりもしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		スタッフ会議にて検討、再発防止策について話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要なお子さんについては事前の説明と承諾を得て計画に記載。実施した場合には記録を取り、検討会議も行っている。	